

WHO ファクトシート

抗生物質耐性

Antibiotic resistance

2016年10月

重要な事実

- ・今日、抗生物質耐性は、世界の健康、食品の安全、開発発展にとっての最大の脅威のひとつとなっている。
- ・抗生物質耐性は、あらゆる国の、あらゆる年齢層の、あらゆる人が影響を受ける可能性がある。
- ・抗生物質耐性は自然にも発生するが、ヒトや動物での抗生物質の乱用がそのプロセスを促進している。
- ・例えば肺炎、結核や淋病のような感染症で、これまで治療に用いられていた抗生物質が効きにくくなっているため、治療が難しくなっているものが増えてきている。
- ・抗生物質耐性は、入院期間を長くし、治療コストを高くし、死亡率を高めることにつながる。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Antibiotic resistance

ファクトシート原文は [こちら](#)